

工法・新製品紹介

障害撤去用ハンマーグラブ

●はじめに

現在、関東地方を中心に既存杭などの障害撤去の仕事が非常に多く、基礎の業界は障害撤去なしには語れないと言っても過言ではありません。

その仕事に対応するために、油圧などの動力を使った工法は様々なものが開発されているのも周知の事実です。そのなかで、何とか動力を使わないで従来のワイヤーによる吊上げで対処できないかと、ハンマーグラブ自体に工夫と改良を加えたものが今回紹介させていただく障害撤去用ハンマーグラブです。

●障害撤去用ハンマーグラブの特長

- ①大きな掴み容量(従来の約1.5倍)
シェルの長さや幅を長くする事により、掴み容量を大幅にアップしました。
- ②ケーシングに密着したシェルの構造
従来の楕円形から杭の形状に合わせた真円に近い形状に変更。
- ③シェルの掴み力の向上
シェルのアームの部分長くする事でテコの原理によるシェルの閉じる力をアップ。
- ④使用方法に合った形状を選べます
掴む障害の形状などによって爪先の形状や取付け方法を選べます。また取替えも容易にできます。
- ⑤掘削時間の大幅な短縮
掘削容量と掴み力のアップにより工期の短縮が図れます。
- ⑥従来のハンマーグラブとの互換性に優れている
ハンマーグラブ本体は従来のものが使う事ができ、シェルアッセンのみを障害用に置き替えるだけで障害撤去用ハンマーグラブとして使用できます。

新製品

SK-15S型1500φ用
SK-20S型2000φ用

	SK-20S	従来のハンマー
掴み容量	1.0m ³	0.7m ³

図1、図2 φ2000用シェルアッセン見取り図
写真1 既存杭の撤去状況

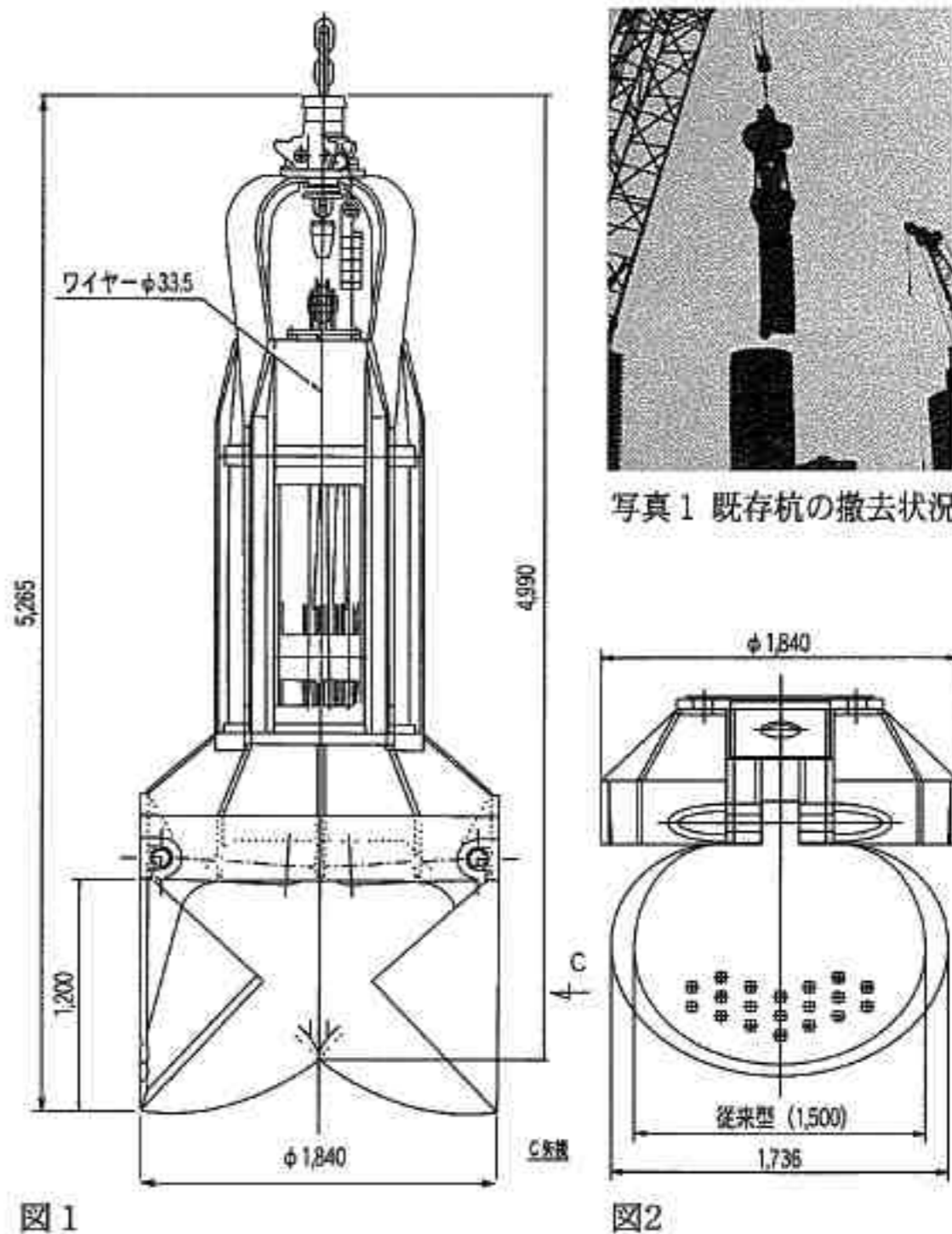


写真1 既存杭の撤去状況